

# 池高だより

令和4年度 No. 1

2022. 5. 10 発行



## 老舗の土鍋のような

## 池田高校目指して

校長 越坂 直広

古都京都に創業何と約340年のすっぽん料理の老舗が在ります。この店では、歴史と伝統に育まれた味が悠久の昔から守り続けています。

この店の調理ではコークスにより1,600℃以上の超高温で一気に炊き上げる独特の方法にこだわっています。土鍋もその高温に耐えうるものとして信楽焼の分厚いものを使用しているといいます。老舗の歴史と智恵で生み出されたこの鍋は店の宝となって受け継がれ大切に使用されます。そして、この長い間に鍋の味がしっかり土鍋に染み込んでいるので土鍋に水だけを注ぎご飯を入れ込んでグツグツすると絶妙でエクセラン（最高に美味しい）な雑炊ができるといいます。

池田高校はこの老舗の宝の土鍋のようです。池田高校の五味、辛味や渋み、コク味、104年の時間をかけて培った歴史と伝統が鍋に気持ちがしっかりとこもって染み込んでいます。生徒は池田高校で過ごすことによってその味を自分に染みこませ様々なものを身に付けて巣立っていくのです。

現在の教職員と生徒は、鍋を創って来た多くの先達に敬意と感謝の気持ちを持つとともに校訓『創造・実践』を支えとして、新たな学校教育目標の具現化に向けて、今後も弛まぬ努力を持続する決意を改にしています。

職員・生徒一同「チームで臨む池田高校」を目指し全力で取り組む所存ですので、保護者、地域の皆様方の「チーム」への参画、及び御理解、御支援、御協力を心よりお願いします。



私達は豊頃町から池高に通ってます☆

## ☆ 39名が『池高生』の仲間入り！ ☆

4月8日(金)、十勝管内をはじめ、千歳市や旭川市からも高い志をもった39名(男子23名、女子16名)が入学しました。

入学式は、池田町長の安井美裕様、そして保護者の皆さまや教職員に見守られ、厳粛かつ温かな雰囲気で行うことができました。

式では、入学生を代表して、坪井亮くん(豊頃中出身)が「何事にも全力を尽くし、自己を高めます。」と宣誓【写真上】。終了後は、クラスごとに集合写真を撮影してから、ロングホームルームを実施。緊張の面持ちで、池高生活最初の1日を終わりました。



4月11日(月)は、生徒会執行部主催による『新入生歓迎オリエンテーション』。相澤健太郎くん(池田中出身)が、『このオリエンテーションで、池高のことをいろいろ学びたい。』とあいさつしました。【写真左】。

その後、吹奏楽部のダンプレ演奏や、先輩方が時間をかけて編集した学校行事紹介スライドや部活動紹介動画などを鑑賞。新入生はもちろん、先輩方や教職員みな、池高について楽しく学びました。ちょっぴり緊張の糸がほぐれた新入生は、これから始まる池高生活に胸を躍らせ、早速いろいろな部活動の様子を見学していました。

なお、今年度の入学生は、2クラス編成を行う人数に達しませんでした。今年度に限り2グループに分け、よりきめ細やかな指導を行います。

### 令和4年度 池田高校入学生の出身中学校

#### 【十勝管内】

《池田町》池田中 《豊頃町》豊頃中 《幕別町》幕別中・札内東中  
《本別町》本別中 《陸別町》陸別中 《鹿追町》鹿追中  
《更別村》更別中央中 《帯広市》帯広第五中・翔陽中

【石狩管内】 《千歳市》青葉中

【上川管内】 《旭川市》北門中